令　和　２　年　度

幼　稚　園　教　育　自　己　診　断　票

集　計　結　果

この診断は、幼稚園教育活動が幼児の実態や保護者・地域住民の幼稚園教育活動に対するニーズに対応しているかどうかについて、幼稚園自らが幼稚園教育計画の達成度を点検し、幼稚園教育改善のための方策を明らかにするために行うものです。

点検結果の記入方法は、項目のそれぞれの内容が、よくあてはまる場合はＡの欄に、ややあてはまる場合はＢの欄に、あまりあてはまらない場合はＣの欄に、まったくあてはまらない場合はＤの欄に、それぞれ〇印をつけて評価します。また、判断できない（わからない）ことは、どの欄にも〇印をつけないことにしてあります。

東　金　市　立　大　和　幼　稚　園

※各項目の評価については、A=4、　B=3、　C=2、　D=1 として合計して平均値を出したものを示してあります。

内容				評価平均値
園の組織と運営	教育目標	1	東金市の教育指導目標『生きる力をそなえた幼児の育成』から教育目標に立てましたが、幼児の実態に合ったもので、具体的に実践しやすいものでしたか。	３・６
	経　　営	1	園務分掌の分担･割り当ては、職員それぞれに適切でしたか。	３．２
		2	分担された分掌は、適切に処理しましたか。	３．２
		3	学年運営は円滑に行いましたか。	３．３
		4	幼児の実態に合った学級経営をしましたか。	３．３
		5	職員会議では、自由に意見が言えましたか。	３．６
		6	職員の意見は、園運営に反映されていますか。	３．４
		7	報告・連絡・相談がしやすい風通しの良い職場ですか。	３．８
	研修・研究	1	園内研修は適切で、職員の共通理解のもと研究が推進されましたか。	３．６
		2	研修や研究の成果が日常の保育実践に生かされていますか。	３．６
		3	研究会･研修会等に参加し、自己研鑽に努めましたか。	

反省点	改善案
・園内研究は計画的に行い、学びも多かったが、さらに深まるようにしていきたい。 ・園内研究は、個々の捉え方の違いから、食い違ってしまうことがあった。 ・人数が少ないながらもいろいろな子がいたので、全ての子どもにあった学級経営は難しかった。 ・分担された仕事は、適切に処理するよう努力したが、できないこともあった。 ・会議だけでなく、日頃から意見の言いやすい環境を作っていただけていたが、うまく発言できないことがあった。 ・積極的に意見を言えないことがあった。	・各クラスの実態、課題を発表し、教頭と園長の話という流れになっているので、一つの事例に対して、良かったところや他の援助のしかた等を出し合うなど進め方を工夫するとよい。 ・普段の話し合いを密にし、疑問に思ったことをすぐに質問し合える環境を整える。 ・どうしてもどちらかに合わせる場面が出てきてしまうので、待たせる時間をできるだけ短くするような工夫をしていく。 ・分掌は決まりや期限を守り、適切に処理できるよう努力していく。確認や相談をしっかりとしていく。 ・自分の意見を日頃から持ち、伝えていけるようにする。

内容				評価平均値
指導の重点	教育計画	1	年間指導計画は、幼児の実態や地域性、教育要領の改訂の重点を考慮して作成しましたか。	３．４
		2	週日案は、提出期日を守り見通しをもって作成することができましたか。	３．３
		3	園行事等の計画とその運営は適切でしたか。	３．０

行事名	評価平均値	行事名	評価平均値
始業式・終業式	４．０	入園式・卒園式	３．８
誕生会	３．６	園外保育	３．８
お楽しみ会		もちつき会	
運動会	３．８	生活発表会	３．４
フリー参観	３，４	給食参観	

				評価平均値
	内容、方法	1	年間指導計画・週日案にもとづいて保育できましたか。	３．０
		2	幼児の興味・関心・意欲を喚起した保育活動の工夫・改善ができましたか。	３．０
		3	一人一人の発達に応じた課題に対して、教師の配慮や指導が適切にできましたか。	２．６
		4	日常の保育において、幼児が自信や意欲を高めるような援助をしましたか。	３．３
		5	発達段階に応じた基本的な生活習慣を身に付ける指導ができましたか。	３．０
		6	日々の保育の記録を取り、次の指導計画に生かしていますか。	３．３
		7	特別に支援を必要とする幼児に適切な支援をしていますか。	２．６
	環　　境	1	用具や材料は、ねらいや活動内容に即して準備し配置していますか。	３．０
		2	他学級との連携を保ちながら、保育の場を設定していますか。	３．３
		3	幼児の活動に合わせた環境を工夫していますか。	３．０
		4	幼児が安心して生活できる人間関係づくりに努めましたか。	３．６

反省点	改善案
・行事はコロナ禍での行い方を検討していくことが難しかった。 ・コロナ禍で中止となる行事が多かったが、実施できた行事はできる限りの感染対策をし、工夫しながら行えたと思う。子ども達が楽しめるようにと企画、開催した大和祭りは良かったと思う。 ・制作に必要な材料は十分準備することができたが、日々の遊びで使用するものは遅れてしまうことがあった。 ・特別な支援を要する園児それぞれに適切な指導が十分だったとは言えない。 ・週案などの反省を反映できないことが多かった。	・常にコロナ禍においてどのように対応するか考えながら保育することを心がける。 ・今後もコロナ禍が続くと予想されるので、職員間で話し合い、安全を第一に考えながら、子ども達が楽しめる工夫をしていきたい。 ・必要なものは、その都度準備するようにする。 ・これまでの経験や上司に相談することでそれぞれの子ども達にかかわってきたが、専門機関と連携をとり、助言をいただく機会が必要だと思った。

内			容	評価平均値
	安　　全	1	危機管理について、意識の向上に努めていますか。	３．４
		2	施設設備は、日常的に点検や管理が行われていますか。	３．６
		3	室内の安全、採光、換気、保温、整理整頓などに配慮していますか。	３．２
		4	事故や問題が起きた場合、上司へ報告し保護者への説明や対応は敏速かつ的確に行っていますか。	３．８
家庭や地域との連携	保護者との連携	1	保護者とコミュニケーションを積極的にとり、保育に生かしていますか。	３．０
		2	家庭への連絡や降園時の連絡をきめ細かく行っていますか。	３．３
	地域との交流	1	機会をとらえ、地域の人々に幼稚園に親しんでもらえるように工夫していますか。	
		2	地域の施設や自然などを保育に取り入れようとしていますか。	２．６
	子育て支援	1	幼稚園のふれあい広場は、計画や内容を吟味し工夫しながら実施していますか。	
		2	預かり保育の園児の健康状態や連絡事項などについて、講師と密に連絡を取り合っていますか。	２．７

反省点	改善案
・毎朝、安全点検を行っているが、見落としてしまうことがあった。 ・危機管理は意識の向上に努めているが、見落としてしまうことがあった。。 ・預かり保育については、講師の先生に必要な連絡を伝え忘れてしまうことがあった。また、時間が限られているため、コミュニケーションが不足しているように思う。 ・預かり保育の子について、講師との連絡が不十分で、保護者に伝えるタイミングが逆になってしまったことがあった。	・今までの傾向を踏まえ、ポイントを押さえて安全点検を行っていく。 ・今までと同じではなく、常により安全な援助や環境を模索していく。 ・コロナウイルス関係だけでなく、日常の中の危機管理も今まで以上に意識を高めていく。 ・必要な連絡はホワイトボードに記入するようにしてから伝え忘れは減っているが、意識してコミュニケーションをとれるように心掛ける。 ・その日の子どもの様子について何かあれば伝えるようにしていたが、不十分だったので小さなことでも職員側から伝えていく。また、遊びの内容についても、保育との関係で待ってほしいことは、伝えていかなければと思った。